

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：03 民生費 項：01 社会福祉費 目：社会福祉諸費

事業名 福祉会館改修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 健康福祉政策課 管理調整係 電話番号：058-272-1111(内3214)

E-mail：c11221@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 413,093 千円 (前年度予算額：200,048 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	200,048	0	0	0	0	0	0	179,900	20,148
要求額	413,093	0	0	0	0	0	0	0	413,093
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

岐阜県福祉・農業会館は築40年を経過しているが、建築後一度も更新を行っていない設備が複数存する。

空調設備は、耐用年数を25年以上超えており、機器等の経年劣化が激しく、交換部品が既に製造中止となり供給されないものもある。故障した場合には、長期にわたり空調設備が使用できない場合があり、健康に被害を及ぼす恐れがある。

非常用自家発電設備も耐用年数を25年以上超えており、補修を行いながら機能を維持しているものの、設備全般が故障期にある。経年劣化による故障のリスクや、交換部品が既に製造中止となり供給されないものもあり、故障した場合には停電発生時の避難行動、消火活動、外部との連絡に支障をきたす恐れがある。

施設の安全性、機能性を確保するため、空調設備の更新及び非常用自家発電設備の実施設計を行い、県有施設の長期活用を図る必要がある。

(2) 事業内容

- ・岐阜県福祉・農業会館空調衛生設備工事

- ・岐阜県福祉・農業会館非常用自家発電設備更新工事（実施設計）

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,519	
工事請負費	409,429	
その他	1,145	事務費
合計	413,093	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県県有施設長寿命化計画に基づき、計画的に改修

(2) 事業主体及びその妥当性

県有施設であるため、県が事業主体となるのが妥当

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県福祉・農業会館の空調設備及び配管設備について更新工事を実施し、令和5年度中に完成させる。また、非常用自家発電設備更新工事に向けた実施設計を令和5年度中に完成させる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

改修工事に要する経費の要求であり、指標の設定は困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	トイレ改修工事及び空調設備改修工事について、実施設計を行った。
令和3年度	トイレ改修工事を実施した。
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>令和3年度、部品の故障により3週間ほど冷房の運転ができなかったため、施設利用者の安全性、快適性確保のために早急な改修工事が必要である。 また、非常用自家発電設備についても、性能が低下しているため、会館利用者の安全確保のために早急な改修工事が必要である。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 適正な施設の維持管理のため計画的な修繕が必要となる。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 施設の安全性等を確保し、施設として十分に活用していく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者（団体）	（理由）
補助事業の概要	（目的） （内容）
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容） （理由）
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 （理由）

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和3年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
